



高槻ロータリークラブ 2017~2018 WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

I. 真実かどうか
II. みんなに公平か
III. 好意と友情を深めるか
IV. みんなの為になるかどうか

事務所 オーロラモール高槻西武6階 〒569-1116 高槻市白梅町4-1
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 オーロラモール高槻西武6階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日
会長 浜田厚男 **幹事** 橋本憲治 **クラブ運営委員長** 馬淵晴彦 **会報担当副委員長** 藤田貴子

No.5 2017年8月2発行

8月は会員増強・新クラブ結成推進月間

第3083回 本日(8/2)の例会

- ◎ 国歌・・・君が代
- ◎ ソング・・・奉仕の理想
- ◎ 誕生、結婚、入会記念月御祝
- ◎ 創業記念月御祝
- ◎ 卓話 飯田 哲久 君 「私の履歴書」
入谷 治夫 君
- ◎ 例会後の行事
8月度定例理事会

第3084回 次週(8/9)の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
- ◎ 外部卓話
「安満遺跡公園について(仮)」
高槻市都市創造部 安満遺跡公園整備室
室長 松本憲道 様

※ 8/16 (水) 定款による休会

※ 8/20 (日) 親睦BBQ

◎7/26 出席報告

会員数	出席者数	出席率
53名	47名	92.16%
前々回例会補正後出席率	94.12%	
但し、Mup	2名	欠席者 3名
出席規定適用免除有資格者	2名	

8月度 記念月御祝

◎誕生記念

本多 了君	丸山 俊郎君
山口 誠君	川畑 孝彦君
松尾 浩君	白石 純一君

◎結婚記念

該当者なし

◎入会記念

岩井 祐造君	28周年
橋本 憲治君	11周年
小阪 大輔君	11周年
長井 正樹君	11周年
羽根田茂子君	10周年
井前 憲司君	7周年

8月度 創業記念月御祝

生駒 俊雄君 (株)高槻宝商会	S.40.8.15	52周年
河合 一人君 太陽エンジニア(株)	S.47.8	45周年
入谷 治夫君 (有)フクエイ	S.49.8.28	43周年

先週(7/26)の例会から

◎ゲスト 計 1名
国際ロータリー第2660地区 ガバナー補佐
近藤 眞道様(真言宗) 高槻西 RC

◎会長の時間

先週お話ししたロータリー財団の寄付と認証についてお話しします。

財団の使命と寄付に対しては、寄付者にわかりやすい形で、その寄付に感謝します。

それが認証です。寄付者とすぐ分かるように着用できるピンなどを寄付者に贈ります。

寄付額は年々累計を算出します。

1. 「財団の友」会員

「財団の友」会員は、年次基金へ毎年 100 ドル以上を寄付する人のことです。

2. ポール・ハリス・フェロー

ロータリー財団の年次基金、ポリオプラス基金、WF、財団補助金の提唱者側負担

1,000 ドル以上寄付した人。対象は個人だけです。

3. マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

1,000 ドル以上寄付した人は、その後 1,000 ドル寄付するごとに、マルチプル・ポール・ハリス・フェローになります

4. ベネファクター

恒久基金に 1,000 以上寄付したか、遺贈の受取人としてロータリー財団を指定したことを通知した人

5. 遺贈友の会会員

6. メジャードナー：累積寄付合計が 10,000 ドルに達した人。

7. アーチ・クランフ・ソサエティー

8. ポール・ハリス・ソサエティー

これが寄付と認証です

◎幹事報告

・八尾 RC より例会変更休会の連絡が届いております
詳しくは事務局へ確認下さい。

・8月のロータリーレートは 1 \$ = 111 円です。

◎委員会報告

○藤井会員より

前年度の決算報告を本日配信週報の最終ページに掲載しております。今年度より、クラブ運営会計とニコニコ会計を分けて運営することになりました。詳しくは次週、議事録を週報に掲載しますので、ご覧ください。

併せて、クラブ定款細則の改訂をお配りしました。ご不明な点はお問い合わせください。

○IM 実行委員長

朝倉 通憲

来年 2 月 17 日 (土)、ホテル阪急エキスポパークで開催の IM2 組ロータリーデーは、高槻ロータリークラブがホストします。今日いらっしゃいました近藤ガバナー補佐から IM のことでのいろいろご教示いただき、この後卓話をさせていただくことになっていますが、先日 IM 実行委員会を開き、その方向性など大枠を協議しましたのでその経過報告をします。

IM (インターシティ・ミーティング) は、近隣都市連合と申しますか、北摂地区の第 2 組の 12 ロータリークラブが、一堂に会して開かれ、ロータリー情報を学び、親睦を図るという会合です。主催は地区で、ガバナー事業ですが、実際は、ホストクラブに丸投げでありまして、地区大会や個々のクラブの例会と同旨できるクラブ会員全員参加の会合です。

まだ修正の余地はありますが、IM のテーマとして「奉仕を通して人々の人生に変化を」としました。これは、RI 会長テーマの「ロータリー：変化をも

たらず」と、地区片山ガバナーのスローガン「個性を生かし参加しよう」と、浜田会長方針の「個性を考え一親睦・奉仕とは何かを考えてロータリーを楽しもう。楽輪」を合わせたものです。

プログラムの修正もありますが、大枠として、13 時登録受付開始から 16 時 30 分終了の 3 時間半としました。しかし、きょうガバナー補佐からお聞きして、IM ロータリーデーと別枠で、地区主催の 2 組の新人研修会 (例えば 3 年とか 5 年未満の若手ロータリアン勉強会のような) の場を設けたいので会場の部屋等の確保してほしいとの提言をいただき、ホストクラブとしてもその趣旨には賛同しますので、若手のロータリー勉強会用の会場、時間を練り直します。したがって、プログラムも登録開始時間を繰り上げ、食事の時間も考えなければならないと思います。

基調講演としては、生命誌研究館館長の中村桂子氏にお願いしました。同館長は、生命誌、命と絆、親子の育みとか子供の教育やその他幅広いテーマを多方面で講演されている方です。

それに IM の趣旨を踏まえて講演だけでは寂しいので全クラブ参加のプログラムとして、そのクラブ独自の「クラブいち押し奉仕事業」として、その事業一つをパワーポイントでプレゼンしていただくことも考えております。ちなみに当クラブは、幼稚園児を対象とした「心を育む。いのちキラキラ食裁活動」を発表したいと思っています。これは講演テーマとも一致するのではないかと期待するところです。

あと予算や会場関係やプログラムの詳細についても、順次実行委員会で検討していきます。

いずれにしても、高槻ロータリークラブの独自性を出して本来の IM の目的にかなった高槻ならではの IM にしたいと思っておりますし、クラブ全員で展開していきたいので、よろしくお祈りします。

◎ガバナー補佐訪問卓話

IM 第 2 組 ガバナー補佐

近藤眞道

個性を活かし、参加しよう

2017-18 年度 片山ガバナーのスローガンは「個性を活かし、参加しよう」です。そしてその活動の基本として「魅力のある、元気のある、個性のあるクラブ」を作ってください、と片山ガバナーは私達におっしゃっています。

この考え方は、当年度 イアン H. S. ライズリー RI 会長のテーマ「Rotary: Making a difference - ロータリー：変化をもたらす」を地区レベル・クラブレベルでの具体的行動指針・目的として片山ガバナーが決められた事です。

それぞれのロータリークラブがそれぞれのクラブが持っている個性を活かし、そのクラブのある地域社会に、あるいは関係する国際社会によい変化を、貢献をもたらしていこうとするものです。

ロータリー自身もまたロータリーの長い歴史の間に時代に即応した「変化」と「個性」を生み出してきました。

その変化はロータリーの五大奉仕部門を観ればお解りになると思います。ロータリークラブの五大奉仕部門、それは 1. クラブ奉仕 2. 職業奉仕 3. 社会奉仕 4. 国際奉仕 5. 青少年奉仕の 五つの奉仕部門です。これら五つの奉仕部門にかかっていることはややもするとロータリークラブの目的と思ってしまいがちですが、英語の原本では「Five Avenue of Service」となっています。Avenue とは「大通り」の事です。パリのシャンゼリゼ大通りは Avenue des Champs Elysees と言います。日本語訳では「部門」と翻訳されていますが厳密には「Avenue」すなわち「大通り」で、私達ロータリアンがロータリーの目的「意義ある事業の理念を奨励し、これを育むこと」の達成のために私達ロータリアンが「進む大通り」と言う意味です。

さて、この五大奉仕部門はロータリーの歴史とともに新たに追加されてきたものです。D2710 2008-2009年諏訪昭登ガバナーがおやりになった2012-13年の同地区研修セミナー資料での「ロータリーの歴史年表」を参考にさせていただきますと、1905年シカゴでのロータリー創設の翌年1906年にシカゴクラブ定款が制定されており「相互扶助と親睦の概念」を導入、同年に芽生えた社会奉仕概念がその後1913年に社会奉仕活動の顕現化として現れてきます。1915年にはロータリーの道徳律が採択され職業奉仕基準の確立がなされています。1921年には国際奉仕の綱領化が行われ、種々の変化を遂げ1923年に四大奉仕への転換へと移っていきます。その後もロータリーは常に変化し第五番目の奉仕、青少年奉仕部門は2010年(新世代奉仕)が加わることとなります。昨年の規定審議会での変革・クラブにより自由な裁量権を与える概念の導入もこれらロータリーの歴史をみれば、特別な事柄ではなく、「常に変化し成長を遂げる」ロータリーの歴史的一齣なのかもしれません。

ロータリーの目的(ロータリークラブ定款第5条)の理念を常に心に持ち、それぞれがそれぞれの独自のクラブの有り方を持つこと、が求められています。よき同朋・友情に結ばれた友人を多く作り奉仕の機会とするクラブ奉仕を中心に据えたクラブ、職業上の高い倫理基準を持つことを中心としたクラブ、日々地域社会に奉仕することを実践することを中心としたクラブ、世界的ネットワークを通じて国際理解・親善、平和を推進することを中心としたクラブ・・・等々。ロータリー設立当時のロータリーの中心理念である職業倫理規定に基づく「親睦と職業奉仕」を「個性とする」クラブ、あるいは、地域社会への社会奉仕活動が「個性」のクラブ、長年国際奉仕活動をおこなっているクラブ、あるいは昨今のNPOの草の根奉仕活動を得意とし、入会金なし、食事なし、が「個性」のクラブ等々・・・これ種々の個性あるクラブをすべて包括している組織が「ロータリー」と考えることもできます。このことが片山ガバナーのスローガン「個性を活かし、参加しよう」につながると私は考えています。皆さん、皆さんのクラブはいったい何を理念としているか、我がクラブの有り方は何であるのか、ロータリーの長い歴史が私達に物語っている変革と成長をふまえて、私達自身の個性あるクラブ活動をお願いたくおもいます。



【決算理事会議事録】

開催日 2017年7月12日(水) 13:35~14:10

(於 事務局)

出席者 藤井・入谷・朝倉・清水・松尾・伊藤・小山・石田・内本・河合・羽根田・長山

欠席者 浜田・小阪・古川 (敬称略)

議事 議長は藤井会長にて議事進行

決算の概要

2016~17年度においては、週報の電子化、親睦行事の会費は受益者負担を方針とし、倉本会員よりの特別寄付もあって、単年度の剰余金は ¥3,755,445 となった。この剰余金のうちから、3百万円を積立金とし、残りを繰越金に加算することとした。新繰越金は、¥4,396,501となる。

尚、今回の決算処理に当たって、クラブ会費会計とニコニコ会計を別会計として分析することにより、適切な財務管理のできることを確認することができた。

決議事項

①2016~17年度決算。

〈異議なく全員一致にて承認されました〉

(添付資料参照)

② 積立金は2百万円を周年事業積立金、1百万円を奉仕事業積立金とし、定期預金口座を開設する。

〈異議なく全員一致にて承認されました〉

③クラブ会費会計とニコニコ会計を別管理するにあたっては、事務面での対応が整い次第、実施する。

〈異議なく全員一致にて承認されました〉

以上

◎ニコニコ箱報告

・近藤ガバナー補佐、お話いただき、ご教示いただきありがとうございます。朝倉君

・近藤ガバナー補佐、例会訪問ありがとうございました。浜田君

・近藤さん、すばらしいお話ありがとうございました。もっと素晴らしい話あるでしょうね。続き、又お願いいたします。井前君

・近藤ガバナー補佐、ありがとうございました。大木君

本日の合計 ¥ 25,000-

7/1よりの累計 ¥321,000-

◎R財団への寄付

朝倉 通憲君 ¥5,000- 生駒 俊雄君 ¥5,000-

石田 佳弘君 ¥10,000-

(昨日、前歯が折れて困っていたのですが、O会員に時間外診察で対応して頂き助かりました。ありがとうございました)

本日の合計 ¥ 20,000-

7/1よりの累計 ¥180,000-

一人当たり平均 \$31.80

◎米山奨学会への寄付

生駒 俊雄君 ¥5,000-

本日の合計 ¥ 5,000-

7/1よりの累計 ¥157,500-

{ クラブより ¥127,500-
 会員より ¥ 30,000- }

一人当たり平均 ¥3,088-